

ホソオカムラゴケ *Okamuraea brachydictyon* (Cardot) Nog.

【評価理由】

豊田市の王滝溪谷の岩上の 1 地点が、本種の愛知県における確実な生育地である。本種は日本各地で記録があるが、近年それらの産地で再確認が難しくなっている。

【形態】

全形はアオギヌゴケ科の種に似る。葉は長さ 1~1.5mm で、葉先は短くとがり、葉身細胞は楕円状六角形、多少厚角。枝の先端に細い芽状の無性芽を付ける。雌雄異株。アオギヌゴケ科に分類されることがある。



豊田市王滝溪谷, 岩月善之助・鈴木直 No.20592.

【分布の概要】

【県内の分布】

知られている確実な産地は豊田市王滝溪谷のみである。

【国内の分布】

本州、四国、九州に分布する。

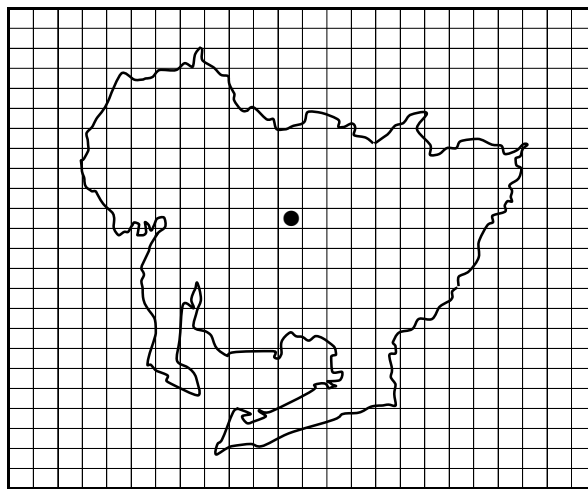
【世界の分布】

極東ロシア、朝鮮半島、中国に分布する。

【生育地の環境／生態的特性】

県内既知の産地は自然度の高い常緑広葉樹林内の樹幹である。

県内分布図



【現在の生育状況／減少の要因】

豊田市王滝溪谷では、調査で本種の生存が確認された。

【保全上の留意点】

今後、上記の地点で本種の生育状況の調査が必要である。

【関連文献】

Noguchi A., 1953. Musci Japonici III. The genus *Okamuraea*. J. Hattori Bot. Lab., 9: 1-15.